

平成30年度6月補正予算の主な事業

参 考 資 料

徳 島 県

目 次

	頁
1 経済・雇用対策の推進	
(1) ㊦ 世界農業遺産認定を活用した「にし阿波」活性化事業	1
(2) ㊦ 「阿波ふうど」に感動・インバウンドおもてなし事業	2
(3) とくしま経済飛躍ファンド造成資金貸付金	3
(4) ㊦ クラウドファンディング型ふるさと納税応援プロジェクト	4
㊦ ふるさと起業家支援プロジェクト	
㊦ 「遍路道」生き生きプロジェクト	
(5) ㊦ 学校における働き方改革モデル事業	5
2 安全・安心対策の推進	
(6) 地域を守る女性や学生等の活躍推進	6
㊦ 女性消防吏員活躍推進事業	
㊦ 地域を守る消防団加入促進事業	
(7) 指定管理鳥獣捕獲等事業	7
(8) ㊦ 後発医薬品使用促進強化事業	8
(9) ㊦ SNS活用「生徒の心の相談」実証実験事業	9
3 大胆素敵とくしまの実現	
(10) 国際スポーツ大会ナショナルチームキャンプ実現プロジェクト	10
㊦ ラグビーワールドカップ2019「事前チームキャンプ」受入環境整備事業	
㊦ 川口ダム湖カヌーコース整備事業	
(11) ㊦ 県立博物館新常設展設計事業	11
(12) ㊦ とくしま「関係人口」創出事業	12
(13) ㊦ “空”でつなぐ！誘客・交流拡大チャレンジ事業	13
(14) ㊦ 「四国の右下」サテライトオフィス映画“みてるけ”事業	14



世界農業遺産認定を活用した「にし阿波」活性化事業

【平成30年度6月補正予算額10,000千円】

背景

- H29.3.14 日本農業遺産認定、世界農業遺産への認定申請承認
- H30.3.9 「世界農業遺産」認定【中四国で唯一】
- H30.4.19 FAO国際フォーラムにて世界農業遺産認定証授与(ローマ)



「世界農業遺産」「観光圏」「食と農の景勝地」
日本で唯一のトリプル認定を最大限活用

事業の目的

「にし阿波の傾斜地農耕システム」が「世界農業遺産」の認定を受けたこの好機を逃すことなく、スピード感を持って、農産物のブランド化や農泊など「食」「農」「観」連携の取組を推進。

GIAHS



事業の概要

戦略的な情報発信

◆プレスツアーの実施

- ・魅力のみせ方、手法調査
- ・最も効果的なメディア選抜
- ・メディアを招請し国内外に情報発信



◆スタディーツアーの実施

- ・地域内の認知度向上
- ・ガイド発掘、支援者の確保
- ・集落の誇りの醸成、受入体制強化



◆世界農業遺産認定地域との連携

- ・H30.10「全国GIAHSの集い」出展
- ・認定地域と連携した情報発信

受入体制の整備

◆傾斜地体験スポットの設置

- ・常設の体験・見学受入場所の整備
- ・デザインを統一した多言語表記の案内看板設置

◆傾斜地農業ワンストップ窓口設置

- ・現地までのトータルサポート
- ・旅行者と受入集落とのマッチング
- ・現地ガイドとの調整



農産物の高付加価値化

◆戦略品目の増産

- ・絶対量が不足している地域特産のジャガイモ在来種「ごうしゅいも」の秋植え実証ほ場を設置
- ・生産拡大と周年供給を検証し、次世代に継承



「にし阿波の認知度向上」「観光誘客の促進」「農業者の所得向上」の実現！

新「阿波ふうど」に感動・インバウンドおもてなし事業

【平成30年度6月補正予算額 10,000千円】

海外へ徳島の魅力を発信する 「チャンス」の年

国際スポーツ大会の開催

- ウェイクボード世界選手権の開催
- ラグビーワールドカップ(2019)
- 東京オリ・パラ(2020)
- ワールドマスターズゲームズ 2021 関西



来県する外国人の急増

- 大型クルーズ客船の寄港
- 「にし阿波の傾斜地農耕システム」の世界農業遺産認定
- オリ・パラ事前キャンプ誘致活動本格化



◎「おもてなし」機会の拡大

県産食材PRの好機

JAPAN AWA から 「食のおもてなし」

「ホストタウン」でおもてなし

- ①国際スポーツ大会等で県産農畜水産物のPR
 - ・「でり・ぱりキッチン阿波ふうど号」、
「新鮮なっ!とくしま号」の活用
- ②来県する外国競技団体等への安全安心なオリ・パラ対応食材の供給
 - ・歓迎レセプション等における、対象国の食文化と和食、郷土食のコラボメニューの開発、提供
 - ・GAP、ハラール等の県産農畜水産物を活用

「阿波の港」でおもてなし

- ①県産食材PR
 - ・船内レストラン等で県産食材を使用したメニューの提供
- ②「阿波ふうど」魅力発信
 - ・多言語対応パンフ、動画等コンテンツ作成
 - ・県産食材コンシェルジュの配置
- ③寄港地でおもてなし
 - ・着岸壁において、県特産品の無料配布
 - ・とくしま特選ブランド等の物販イベントの開催

「農山漁村」でおもてなし

- ①国際スポーツ大会等で来県した外国人を対象に、県内農山漁村の魅力体感ツアーを実施
 - ・世界農業遺産ツアー
- ②水産体験学習ツアーの実施
 - ・「阿波ふうど」スペシャリスト(参加者)がSNS等における情報発信

3つの「おもてなし」による
「阿波ふうど」の
魅力発信!

インバウンド増大
加速!!

食の感動を
AWAから世界へ!

「阿波ふうど」の
需要拡大
輸出拡大

世界に通じる

農畜水産業の
活性化!!

担当:もうかるブランド推進課

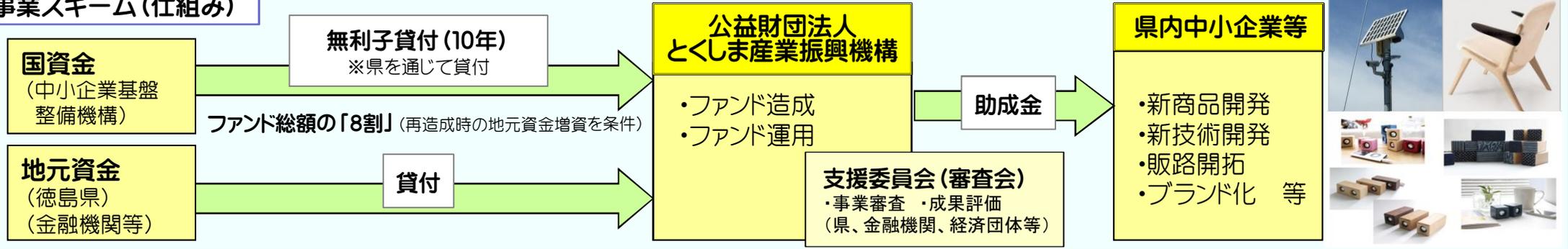
とくしま経済飛躍ファンド造成資金貸付金

【平成30年度6月補正予算額 300,000千円】

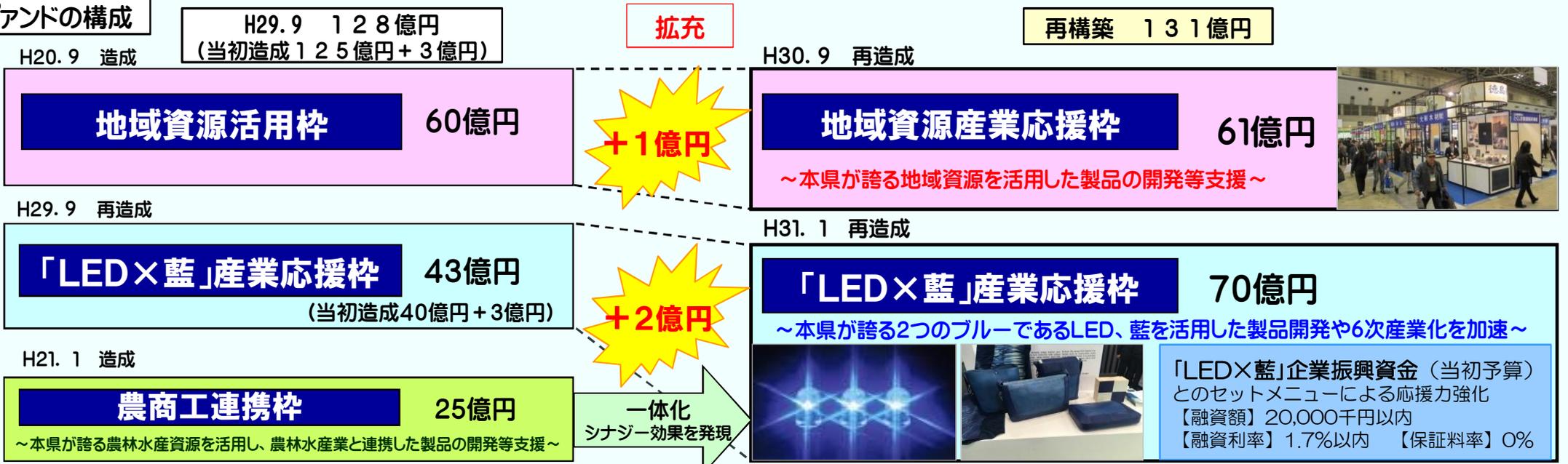
目的

- 徳島が誇る「地域資源」や「LED×藍」を活用した新商品・新技術の開発、販路開拓等に対する支援を強化
- 中小企業振興条例の強力な推進エンジンである「とくしま経済飛躍ファンド」を活用した県内経済の活性化
- 国の制度を活用し、タイムラグなく支援を継続するため、ファンドの再造成を実施

事業スキーム(仕組み)



ファンドの構成



「とくしまの強み」を活かしたイノベーションを創出し、地域経済を活性化

担当: 新未来産業課



新 クラウドファンディング型ふるさと納税 応援プロジェクト

【平成30年度6月補正予算額 10,700千円】

事業内容

- ◆ 「地域資源を活用した地域課題の解決」「創業」「新商品開発」への**新たな挑戦を支援**
- ◆ 地域の実情に応じ創意工夫した取組みに対し、**クラウドファンディングを活用して、寄附を募集**

“徳島が大好き”
“応援したい”



取組みへの**共感**と積極的な**参画**



“徳島の力になりたい”
“みんなで盛り上げよう”

新「遍路道」生き生きプロジェクト

【予算額 700千円】

国史跡指定の遍路道において、風雨や歩行等による浸食から文化財的価値を守るため、地域が誇り得る遍路道の保全・保護を実施する。

浸食された遍路道



地域で力を
リフレッシュ！



遍路文化を未来へ継承

四国初!!
GCF※を
「四国遍路」に
活用！



※ GCF…
自治体が行う
クラウド
ファンディング

世界遺産登録に向けた機運を醸成！

新ふるさと起業家支援プロジェクト

【予算額 10,000千円】

地域経済を活性化させ、新規雇用の創出を図るため、地域に根ざした魅力的な事業を立ち上げる起業家を支援する。

事業開始後5年以内で、
県の創業支援事業の認定を受ける者



選定



認定
企業

補助

クラウドファンディング寄附金

県独自の追加支援

創業促進による経済の好循環へ！

寄附者との**継続的なつながり**が図られ、**寄附文化の醸成**に繋がる

新たな寄附者の開拓と、寄附者の「想い」により、『地方創生』を加速！

新 学校における働き方改革モデル事業

【平成30年度6月補正予算額 1,600千円】

H29年度学校における働き方改革タスクフォース
(小中高・特別支援学校の若手教員を中心に組織)

<県内の時間外勤務調査結果>
月平均80時間以上の時間外勤務を
している教員の割合
小学校19% 中学校49%



意見・提案

現場目線で
意見集約

取組みの
方向性

5つの柱

- ①勤務時間の管理と意識改革
- ②業務改善の推進
- ③外部人材等の活用
- ④部活動の適正化
- ⑤保護者・地域への理解

県

学校における働き方改革推進チーム結成

三位一体
で推進

市町村

学校

重点モデル地域・モデル校での実践

- 教職員の意識改革と学校マネジメント強化を図る教職員研修を実施
- 外部人材の活用、業務改善の取組みを実施

重点モデル地域：東みよし町（小学校4校・中学校2校）

- ・勤務実態の把握、時間管理
- ・教材を共有できるデータベースの構築
- ・ワークライフバランス研修会の実施
- ・部活動指針の策定



地域の方による学習支援

コミュニティ・スクール、ICT基盤、
共同事務室の機能を活用

モデル校：「小中高・特別支援学校」で実践

- ・アドバイザーの指導により職場環境の改善
- ・勤務実態の把握、時間管理の徹底
- ・外部人材の活用による効果、課題の検証
- ・様式の電子化、データの共有化

小中学校には
「部活動指導員」
「スクール・サポート・スタッフ」
を配置



校長等のリーダーシップのもと、
学校全体の目標設定
業務改善モデルを創出

期待される効果

業務の適正化と質的転換
→ より効果的な教育活動の実現

勤務時間を意識した働き方
(小学校の取組み・カエル時刻の設定)

成果創出 全県展開へ

新しい時代の教育に向けた「持続可能な学校づくり」を推進

地域を守る女性や学生等の活躍推進

【平成30年度6月補正予算額 3,121千円】

現状

○女性消防吏員 (H29.4.1)

- ・徳島県の消防吏員 1,071人
- うち、女性吏員 11人 (1.0%)



➤ 女性消防吏員の確保

○徳島県の消防団 (H29.4.1)

- ・消防団員数 10,801人
- うち、学生団員数 6人
- ・消防団協力事業所数 205事業所



- 学生消防団員の確保
- 消防団協力事業所の拡大

新 女性消防吏員活躍推進事業 【621千円】

学生、大学等への消防の魅力発信

- 女子学生を対象に、**消防の魅力を発信する職業説明会**の開催
- ・ポスター、パンフレット等を作成し、イベントや大学等に出向いて広く周知

オシャレでカッコいい消防女子を積極的にPR



救急隊員

女性の働きやすい環境づくり

- 「相互交流の場」をサポート
→ 「**女性消防吏員の会**」の立ち上げ
- 女性活躍の先進事例等を学ぶ **キャリアアップ研修**の開催



通信指令員

新 地域を守る消防団加入促進事業 【2,500千円】

学生消防団の加入促進

- **学生、大学等への積極的な働きかけ**
- ・大学等訪問、説明会等の開催
- ・「学生消防団活動認証制度」の周知

消防団協力事業所の拡大推進

- **経済団体、企業等への積極的な働きかけ**
- ・経済団体、企業等訪問、説明会の開催
- ・「消防団協力事業所」の掘り起こし

事業所として消防団活動に協力
→ **社会貢献・社会責任を認証**

更なる拡大!



学生の避難所支援



消防団協力事業所表示制度

女性や学生等、多様な人材による消防力の充実強化!

指定管理鳥獣捕獲等事業

【平成30年度6月補正予算額 30,700千円】

背景・概要等

- ニホンジカ・イノシシによる**自然生態系への影響及び農林業被害の深刻化**
- ニホンジカは、高密度地域が広範囲に及んでおり、半減目標の達成に向けて、**更なる捕獲の強化が必要**
- 狩猟期間外の捕獲が7割を占め、**狩猟期間中の捕獲数の伸び悩み** →一年を通じた捕獲・個体数管理が必要

国の動き

- ✓ ニホンジカ・イノシシの個体数を**平成35年度までに半減**させる「抜本的な鳥獣捕獲強化対策」を公表
- ✓ 捕獲個体のジビエ利用量を**平成31年度に倍増**
- ✓ 狩猟による集中的な捕獲と捕獲個体の利活用を促進するため、**狩猟者による捕獲を緊急的に支援**（環境省）

「**捕獲から消費**」までを一体的に取り組むことにより、**捕獲の加速化とジビエ利用の拡大を目指す!**

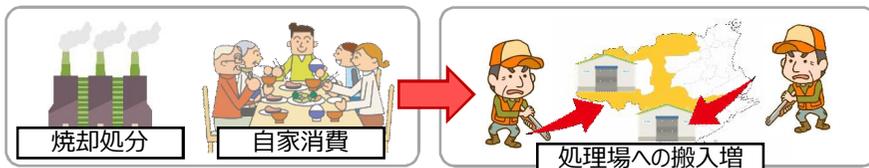
供給現場（捕獲）

ジビエ利用拡大のための狩猟者への支援

- ✓ 狩猟期間中に捕獲したニホンジカ・イノシシ 1頭あたり9,000円を上限とする**捕獲経費等の支援**

期待される効果

- 焼却処分や自家消費中心から、処理場への搬入量増!
- 狩猟者の捕獲意欲の向上→狩猟者の維持と新規確保へ!



- ✓ 複数市町村との連携による「**広域的な捕獲活動**」への支援

期待される効果

- 捕獲頭数の増加!
- 狩猟者過疎地域の捕獲体制の維持!



処理加工

ジビエ利用拡大のための処理加工支援

- ✓ 処理場へ搬入されたニホンジカ・イノシシの**処理加工に係る経費等の支援** (上限2,000千円)

期待される効果

- ジビエ利活用量の増加!
- 処理加工場の自立可能な経営基盤の確立!

- ✓ 食肉利用に適した「安全・安心」なジビエの**安定供給のための「衛生講習会」等を開催**

期待される効果

- 「安全・安心」なジビエの普及!
- 捕獲個体の利活用率の向上!



消費

ジビエサミットの開催



在庫の一元管理



加工品等の活用

当初予算を活用した消費の拡大

「**捕獲の加速化**」と「**ジビエ利用の拡大**」による地域の活力の回復を目指す!

新 後発医薬品使用促進強化事業

【平成30年度6月補正予算額 13,000千円】

現状

「経済財政運営と改革の基本方針2017」

・2020年9月までに **後発医薬品使用割合80%**

第3期県医療費適正化計画(H30~)

・**後発医薬品の使用促進を重点項目に位置づけ**

後発医薬品使用割合(数量ベース)
(H29.12月時点)



・全国平均 70.9%

・**徳島県 63.2%** → **全国最下位**

※伸び率は4.9% 全国1位(H28.12~H29.12)

医療機関、薬局、県民へ周知・啓発

- ・「後発医薬品適正使用協議会」を通じた様々な取組みを展開中
- ・今後、各世代に応じた戦略的な啓発が不可欠



使用促進へのアプローチ

事業の概要

問題点の調査・分析



○課題や問題点を明らかにするため、医療機関、薬局及び患者の**意識調査**と**レセプト等のデータ**を合わせた調査・分析

○県が作成した広告や啓発資材に対する理解度調査



関係機関との連携強化



○医療機関や薬局で後発医薬品を使用しやすい環境をつくるため、「**徳島県版フォーミュラリー**」マニュアル(後発医薬品への切替え手順書)の作成

○保険者と連携した医療機関、薬局に対する個別のアプローチ



各世代に応じた周知・啓発



○**徳島県オリジナルキャラクター**の作成、普及啓発キャンペーンの実施

- ・雑誌、広報誌、新聞、ラッピングバス等でのPR
- ・大学祭、文化祭、シルバー大学校、消費者大学校等での啓発活動

○後発医薬品を使用促進している薬局等事業者の**認証制度**



後発医薬品の使用促進



県民の医療費負担の軽減



持続可能な医療制度へ

担当:薬務課

新 SNS 活用「生徒の心の相談」実証実験事業

【平成30年度6月補正予算額 10,000千円】

現 状

- 総合教育センターにおける相談支援
 - ・電話相談
24時間子どもSOSダイヤル等
 - ・来所相談
専門家（臨床心理士，精神保健福祉士等）によるアドバイス等
 - ・訪問相談
相談相手の派遣（ライフサポーター）等

- 学校現場における相談支援
 - ・教員による相談・スクールカウンセラー

課 題

- 電話相談や来所相談等，従来の相談機能では，対応しきれない子どもたちの増加
- スマートフォンの普及に伴い，若年層のコミュニケーション手段として，圧倒的割合を占める SNS

SNS上でいじめ・不登校等を相談できる体制の構築が必要



事業目的

- 従来の相談機能に加え，新たに SNS を活用した相談体制を導入することにより，教育相談体制の拡充を図る。



事業内容



- ◎ LINE を活用した双方向の無料相談
- ◇対象：徳島県内の中学校・高等学校・特別支援学校生徒等
- ◇時期：夏季休業明け前から60日間
- ◇時間：18時～21時
- ◇実施方法：SNS相談のノウハウの豊富な事業者へ委託



教育相談体制の拡充により，**問題の深刻化を未然に防止**

担当：総合教育センター

国際スポーツ大会 ナショナルチームキャンプ実現プロジェクト

【平成30年度6月補正予算額 85,000千円】

新 ラグビーワールドカップ2019「事前チームキャンプ」
受入環境整備事業 **【55,000千円】**

新 川口ダム湖カヌーコース整備事業 **【30,000千円】**

ラグビーワールドカップ2019

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会

これまでの取組み



ジョージア・ナショナルチームの
事前チームキャンプ地誘致！



- ジョージア・ナショナルチーム監督の来県視察（H29）
- 球技場の芝生張替え工事（H29～）



これまでの取組み



ドイツ・ナショナルチームの
事前キャンプ地誘致！



- リオ五輪銀メダリスト等とのカヌー交流を実施（H28～）
- カヌーレガシーセンターの整備（H29）



ナショナルチームのニーズを満たす環境整備

- ジョージア・ナショナルチームの事前チームキャンプに向けた**トレーニング機器整備**
- 芝生の維持管理に必要な機器整備**

12月にナショナル
チームマネージャー
が視察予定

国際レベル
の充実した
練習環境！

鳴門・大塚
スポーツパーク



トレーニングルーム



芝生の維持管理機器

ナショナルチームのニーズを満たす環境整備

- ドイツ・ナショナルチームのトレーニングキャンプ受入れに向けた**国際基準のカヌーコース整備**
- 実践的な練習環境の提供**

今秋にトレーニング
キャンプを実施予定

新たなカヌー
のメッカへ！

川口ダム湖（那賀町）



国際スポーツ大会キャンプ地誘致実現に向けた競技環境の整備

未来へ繋ぐ「スポーツレガシー」の創出

新 県立博物館新常設展設計事業

【平成30年度6月補正予算額 62,000千円】

現状・課題

・展示替えのしやすさの向上

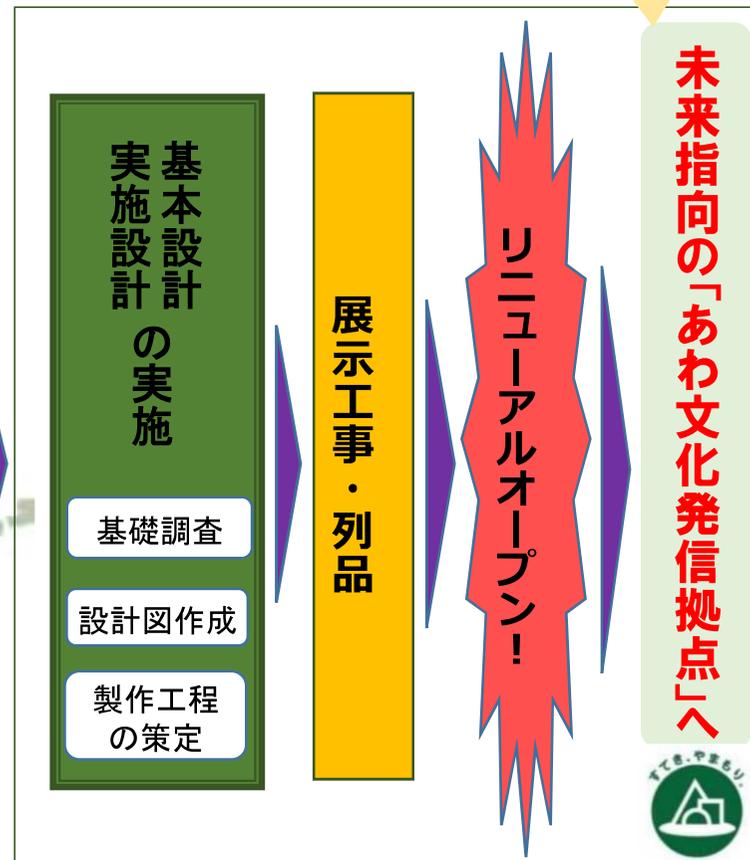
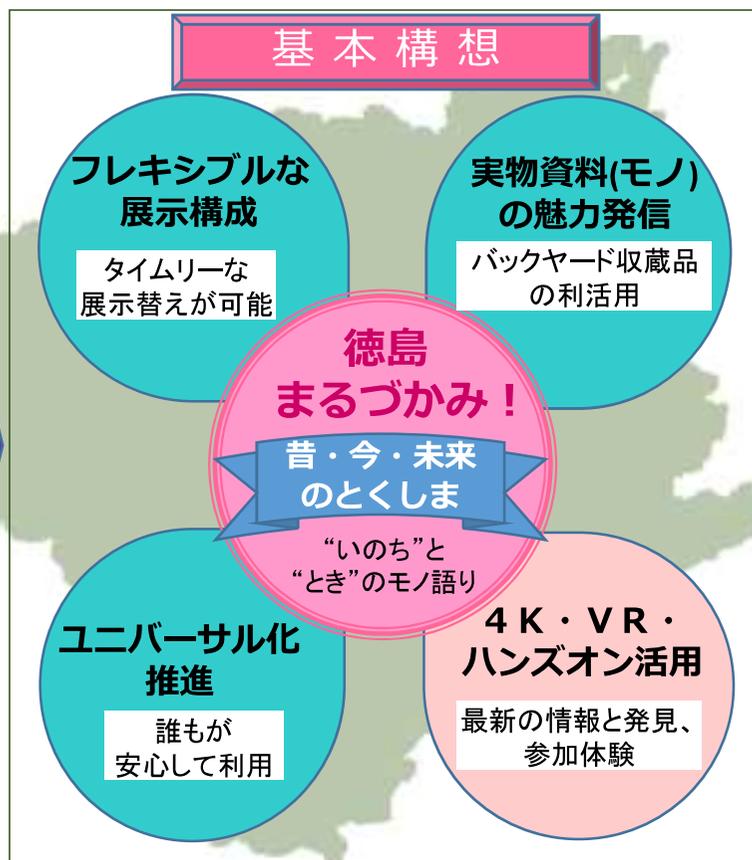
・蓄積された豊富な資料の活用

・施設、設備の老朽化対策

開園30周年を契機に 時代をリードする常設展へ！

新未来型展示
に向けて

全館をあげて



担当: 文化の森振興本部

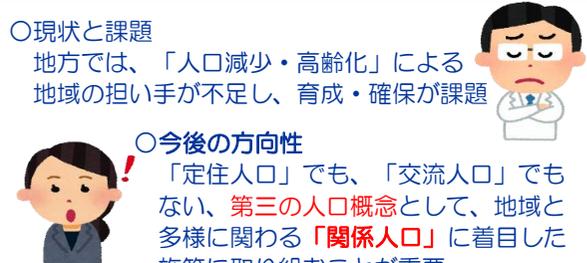
新 とくしま「関係人口」創出事業

【平成30年度6月補正予算額 10,000千円】

「これからの移住・交流施策のあり方検討会」の報告 (H30.1) ※総務省

○現状と課題
地方では、「人口減少・高齢化」による地域の担い手が不足し、育成・確保が課題

○今後の方向性
「定住人口」でも、「交流人口」でもない、**第三の人口概念**として、地域と多様に関わる「**関係人口**」に着目した施策に取り組むことが重要



すでに本県では

徳島県での取り組み状況

○全国に先駆けて「サテライトオフィスプロジェクト」や「デュアルスクール」における「二地域居住」をはじめ、「関係人口」創出に繋がる取組みを推進

本県の「関係人口」



更なる展開へ

今後の展開

○「交流人口」から、本県との継続的なつながりへ発展させ、「関係人口」の裾野を拡大
○既にある「関係人口」から、移住・定住へステップアップを強化

都道府県単位では、「中国・四国・九州」で唯一の採択

総務省「関係人口」創出事業」モデル事業を活用！

新たな切り口で…

全国の阿波おどり「ファン」をメインターゲットに「関係人口」化を目指す！

- 東京（高円寺）、埼玉（南越谷）をはじめ、北海道から九州まで全国各地に「**連**」が点在！
- 全国の徳島と縁もゆかりもない方との「阿波おどり」でのつながりを活かす！

具体的には

連携3市町村での課題解決「協働実践活動」

美馬市

「うだつの町並み」の空き家等を「旅館・物産販売店」等に再生し、「にぎわい創出」による観光地としての魅力向上！

佐那河内村

地場産材を活用した起業、商品化、販路拡大等による「ビジネス創出」で、地域内経済の好循環を！

美波町

SO誘致等の実績を基に、「関係人口」の創出構造を調査分析し、持続可能な地域を創造！



美馬市「うだつの町並み」



佐那河内村「食業工房さなごうち」



美波町「初音湯」

「地域・人材」を繋ぐ仕掛け

●「**関係案内所（仮称）**」の構築
全国各地の「阿波おどり」ファンを中心に、地域や人材と本県をつなぐ役割を果たす「関係案内所」の構築に向けたモデル事業を実施！

●「**マッチング支援機能**」の構築
とくしま若者応援サイト「AWAIRO」に、課題解決に関与したい人材と、そのスキルを活かせる地域との「マッチング支援機能」や「情報発信機能」を追加

「関係人口」の拡大により「新たな「とくしま回帰」の流れ」を創出!!

新 “空” でつなく！ 誘客・交流拡大チャレンジ事業

【平成30年度6月補正予算額 8,000千円】

これまでの取組み

- 国内・国際線共用となる新ターミナルオープン(H30.1～)
ボーディングブリッジの増設等による航空機の受入能力向上
- JAL(H28)、ANA(H29)との包括連携協定締結
- 戦略的なエアポートセールス

空港利用者が、
112万人を突破！
空港移転後最高！



新たな動き

- 徳島－福岡線が「1日2往復」に増便(H30.3～)
- 「乗継割引設定路線」が拡充(H30.5～)
- 徳島－札幌線の5年連続となる季節運航が決定(H30.8)
⇒消費者庁の移転に向けた「北から南」まで国内各地との航空ネットワークが強化



夏・秋の旅行シーズンに向け、誘客・交流拡大を強力に後押し！

「インセンティブ助成」の拡充

● 制度概要

新たに「個人客」をターゲットにした旅行代理店向け
販売支援を**実証的に実施**

● 対象路線

- ・西の「幹線」である「**福岡線**」
- ・北への直行便である「**札幌線**」
- ・東京線から全国各地へ展開する「**乗継路線**」

● 目指す効果

実証的な取組みを通じ、**交流が多い地域の情報収集！**
戦略的な誘客営業・施策展開へ！



「誘客プロモーション」の強化

● 観光客向けPR

メディア媒体の特性に合わせたターゲットを設定し、
徳島の「旬の観光素材」を戦略的にPR

● ビジネス客向けPR

通勤利用者も多い主要駅等のデジタルサイネージを活用し、
ビジネス客へ「**航空アクセスの利便性**」を発信

● 目指す効果

観光・ビジネス需要の両面からの誘客促進！



九州・乗継路線
就航地等でPR



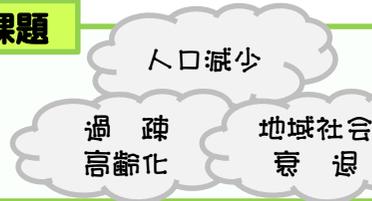
国内航空ネットワークの利用促進により、県内宿泊者数の増加へ！

観光誘客・交流人口拡大により「地方創生」を加速

新「四国の右下」サテライトオフィス映画“みてみるけ”事業

【平成30年度6月補正予算額 5,000千円】

現状・課題



南部管内1市4町と
南部総合県民局が連携！

「四国の右下」
若者創生協議会



南部圏域に…
サテライトオフィス（SO）を24社誘致！
（うち、17社が美波町！！）

SOの誘致・集積（H30当初）

◆ I・T関連企業の誘致

- SO誘致イベント
首都圏から南部圏域への引き込み
- I・Tフォーラム
南部管内で実施したI・T関連事業の成果をPR
- 「四国の右下」SO認定制度
ターゲットを絞った誘致促進サービスの展開

◆ 受入体制の拡充

- コンシェルジュによるきめ細やかな支援

加速化

SOの定着・深化（H30当初）

- SOや地域企業等による
「新たなビジネス」の創出
ミナミマリンラボ等のコワーキングスペースを
拠点として、I・T関連企業等の技術と地域課題等を
マッチングしてビジネス創出を促進

新 映画を活用した新たな誘致活動を全国で展開！



地域における地方創生の取組みを支援

- ▶ SO誘致の促進につながる映画
- ▶ “ひと”や“企業”を南部圏域に呼び込む映画

▶ 東京・大阪等での「試写会イベント」や「全国上映」においてSO誘致活動！！

都市部に本社を置く企業の
「SO進出の機運」を醸成！

新たなビジネス創出につながる
シーズを持つ企業を集積！！

「とくしまインダストリー4.0」
加速化！！



美波町内のSO



ミナミマリンラボ



「ひと」と「しごと」が好循環する持続可能な「まち」づくりを実現

担当：地域創生部